

特別功勞感謝状を授与

セキュリティ産業新聞
2025年9月10日号より

システムと警備の連携で不明ロス改善の市川ビル

J E A S



市川ビル田平代表（左から2人目）とJEAS 稲本会長（右から2人目）

ではこうした取り組みを高く評価し、市川ビルの田平代表を表彰した。田平代表は、ビル会社として地域の安全安心と美化の活動に尽力することに加え、JEASへの協力も継続したいと述べた。

工業会 日本万引防止システム協会（東京都新宿区、稲本義範会長、Tel 03・33555・2322、以下、JEAS）は、8月26日に市川ビルの田平和精代表に特別功勞感謝状を授与した。

商業ビルが増加する一方で、ビルのテナントにとっては商品ロス対策が課題となっている。この課題に対し、市川ビルではSBP（窃盗撲滅Pr

oject）として、テナント企業の商品ロスを削減するために、EASゲート、防犯カメラ、顔認証システムなどのセキュリティシステムと制服警備及び保安警備を連携させる取り組みを行った。

その結果、不明ロスの大幅な改善を実現した。市川ビルでは不明ロスの改善に、どんな施策が効果的だったのかを継続的に確認している。JEAS